

科目名	特別演習				担当教員名	飯干 泰彦、石松 一真、宇田 淳、大石 雅子、平河 勝美、廣瀬 稔、別所 一彦、吉本 圭一、和佐 勝史、岡 耕平、田中 伸、戸田 満秋、萩原 邦子、大村 優華、石原 啓之
該当DP	3	単位数	2単位	特別演習	配当年次	1年次・第2 Semester (通期) 2年次・第3 Semester (通期)
曜日・時限	指導教員が指示する				教室	原則として各教員研究室を使用する
授業概要	<p>主旨指導教員、副指導教員の指導の下で、講義・演習による知識の活用および課題研究のテーマに関連した文献検討を踏まえ、各分野に関する研究課題を科学的に探求する。研究テーマの明確化、研究計画書の作成、データ収集と分析、論文作成までの過程において指導する。</p>					
到達目標	<p>1) 自らの課題を研究テーマとして明確に設定できる。 2) 設定した研究テーマに関連する文献の検索、収集、要約等ができる。 3) 設定した研究テーマに対して最も適切な研究手法を調査し、選択することができる。 4) 設定した研究テーマについての研究計画書作成に関する基本的な知識を説明できる。 5) 設定した研究テーマについて、必要なデータの収集、分析等ができる。 6) 設定した研究テーマについて、進捗状況を中間報告会で口頭発表することができる。 7) 設定した研究テーマを学術論文にまとめることができる。 ※ 本科目は、ディプロマ・ポリシーにおけるDP1、DP2、DP3の全ての到達を目標とする。</p>					
回	日程	見出し	内 容			実践的な授業方法
15		研究テーマの設定と研究に必要な文献調査等の学修	研究テーマの設定に向けて、文献調査の方法や文献検索から、文献調査結果の集約の方法、関連する専門知識等を修得するための研究情報の収集法などについて、指導教員の指導のもとに修得する。研究テーマに沿った研究実施計画書を作成し、研究倫理審査を受審する。また、研究者に求められる研究倫理や行動規範についても学ぶ。 [グループディスカッション] [プレゼンテーション]			○
30		研究計画に基づくデータ収集と論文作成の準備	研究テーマと研究計画に基づき、必要なデータの収集を行うとともに、学術論文にまとめていくために必要な学修を行う。中間報告会に向けて研究進捗をまとめ、口頭発表を行う。 [グループディスカッション] [プレゼンテーション]			○
キーワード		修士学位論文のテーマにより異なる		履修条件	なし	
教材等	教科書(要事前購入)	教科書は特に指定しない。演習で使用する資料は適宜配付する。				
	参考書(任意購入)	ゼミの中で随時紹介する。				
成績評価方法(%) [評価のポイント]		研究活動、中間報告会での発表等を総合的に評価する。				
授業時間外に必要な学修		指導教員の指導に基づき、関連する文献の予習、復習を行う。また、年間予定に基づく研究活動を遂行する。				
学生へのメッセージ		修士学位論文は本研究科における学修、研究の集大成であり、その基礎を築くのが特別演習の目的です。より優れた研究は、社会にとっても有益であり、より優れた実践につながるもので、皆さん自身のキャリアの発展にも有用となるものです。努力を期待します。				

※ 授業の日程については変更する場合があります。